

TLPスペイン語研修

大学院総合文化研究科・超域文化科学専攻 宮地 隆廣



ユカタン・マニ農業学校



テオティワカン遺跡

TLPスペイン語では、メキシコに約2週間滞在する国際研修を行っています。前半は外国語としてのスペイン語教育の分野で長年の実績を持つ、首都メキシコシティにあるメキシコ国立自治大学（UNAM）の語学学校で学びます。スペイン語のみを用いた文法等の授業に加え、メキシコの歴史など特定のテーマに焦点を当てた講義も履修します。後半のアクティビティは年によって異なりますが、首都を離れてメキシコを体験します。2023年度の場合、マヤ文明の栄えた場所として知られるメキシコ南東部のユカタン半島に移動し、熱帯雨林にある泉（セノーテ）や有機農業の学校などを訪ねました。

大学の教室で学んできたスペイン語が日常の言葉として飛び交う。教科書やインターネットで読み、写真で見てきたものが目の前に現れる。そして、食事から人々まで、研修でプログラムされていないものに偶然出会う。学生たちは、国際研修で起きるあらゆることを鮮烈な経験として受け止めつつ、生き生きとしたスペイン語を身につけていくことになります。



国立人類学博物館



メキシコ国立
自治大学



コレヒオデメヒコ(メキシコ大学院大学)

ウシュマル遺跡

